

社協だより

かしわざき

柏崎地区社会福祉協議会

発行者
 柏崎地区社会福祉協議会
 会長 田中泰之
 さいたま市岩槻区真福寺365
 事務局長 桑原見知子
 広報担当 森田幸雄
 TEL-FAX 048-797-2911



あけまして
 おめでとうございます



柏崎地区社会福祉協議会会長
 田中泰之

令和 2 年の新春を迎え新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。昨年は皆様のご協力、ご尽力いただきまして有難うございました。皆様におかれましては、ご壮健で新春を迎えられたと御推察致します。

さて、昨年は柏崎地区社会福祉協議会の事業もスタッフの皆さん、地域推進委員・地元各種団体のご協力のもと予定した全てが順調に行われました。

今年度は、益々高齢化が進む中、より一層皆様に寄り添った事業を計画し展開して行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

最後に令和 2 年が皆様にとりまして更に良い年でありますよう、ご多幸をご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

地区社協行事のいろいろ

令和元年度 敬老祝賀会

令和元年 9 月 29 日 (日) さいたま市老人福祉センター「槻寿苑」で敬老会が開かれました。今年は猛暑続きで体調管理に苦労しましたが、多くの皆さんが元気に参加されました。

午前 10 時半桑原見知子社協事務局長の開会の言葉に続き田中泰之会長のあいさつ、各界の来賓あいさつに続き準備に携わった推進委員たちが紹介されました。今回も柏陽中学校から先生と生徒さん 16 名が参加されて会場内の役割をてきぱきとこなしてくれました。田中会長は「柏崎地区の 75 歳以上の方は 1321 名、内 100 歳以上の方が 2 名元気で暮らして



平野絹子さん 伊藤弘一さん 柳橋 智さん 小柳みさ子さん

います。今後も高齢化は進むと思いますが皆さんが安心安全に暮らせるまちを目指して柏崎地区社会福祉協会を発展させたいと思えます」と話しました。

今年も恒例の米寿の方に田中会長

から花束贈呈し全員で祝福しました。今年には原町の小柳みさ子さん、柏崎の平野絹子さん、真福寺の伊藤弘一さん、浮谷下の柳橋 智さんの4名でした。この後昼食までのひと時、昨年同様“笑いを取り入れた健康体操”を行いました。お腹から大きな声で“わっはっは”と大笑いし、ハッハッハ ホッホッホと呼吸します。皆さんおぼえていますか、行なっていますか？継続は力なりですよ。



『Sa-ya』さんと『まりもちゃん』

午後の部はお待ちかねのアトラクションの時間です。プロの方お二人に出演して頂きました。最初は『Sa-ya』さんのマジックショーです。軽快な音楽にのせてお札（紙幣）やロープを使って何種類ものマジックを鮮やかに見せてくれ、最後に紙幣を使ったマジックを一つ種明かししてくれるサービスがありました。次は『まりもちゃん』によるそっくりショーです。小林幸子さんの“雪椿”のメロディーにのって全身銀色の衣装で登場、一気にステージは華やかになりました。そのうち衣装が電飾でキラキラと輝き一層華やかに。思い出酒などを歌ったのち客席に降りてきて、森昌子さん達の物まねをしながら全員と握手して歩き、その間の絶妙な会話が皆さんを大いに笑わせ楽しませてくれました。会場を回っている途中「実は私は男なんです」とサプライズ、みんなをびっくりさせる一幕もありました。最後は水前寺清子さんの365歩のマーチを全員で唄いショーは終わりました。



令和元年度 柏崎地区運動会(体育振興会主催・社協協賛)

令和元年10月6日(日)柏崎地区運動会(体育振興会主催)が柏陽中学校庭で開かれました。昨日までの暑さから一転肌寒さを感じる曇天の中、予定どおり8時



30分開会式、セレモニーと続き、各競技に入りました、紅白玉入れでは1チーム21名以内の規則の中“浮谷下” “浮谷下”の子ども達 ガンバレ ガンバレは大人が足りず子供が大勢参加し、高い高い籠を目指して頑張っていました。11時ごろから霧雨が降りだし、テント内にも吹き付ける状態になったため、急ぎよ大会本部役員が相談の結果、午前の部第9番「五種目競争タイムレース」を持って終了。午後1時から体育館をお借りして表彰式を行うとの決断がされました。

岩井清正審判長は「午後の部の競技に力を入れて練習してきた方も大勢いると思いますが、このような天候状況なので終了としました。残念ですが来年に向けて今後も宜しくお願い致します」とあいさつ、田中会長も「今年はまだ体育振興会主催の競技も残っています

ので、こちらよろしくお願ひします」と締めました。行われた競技の判定の結果、総合優勝は横根上、準優勝は柏崎、3位は原町、谷下。紅白玉入れ1位は横根上、2位は柏崎、3位は谷下。それぞれ、賞状、カップ、商品が送られました。

柏崎地区「地域ふれあいサロン」

令和元年11月2日(土)柏崎小学校バザーに合わせ「地域ふれあいサロン」が行われ、子供達には昔遊びの遊具が多数用意されており、受付で参加スタンプカードをもらいそれぞれの遊びに散っていきました。バザーを一回りした子供たちも徐々に参加して多数の子供たちが集まってきました。用意された“竹とんぼ”は軸が固定され



上手だな！ 校長先生も感心。

たものと違い羽根だけが飛んでいくタイプで、初めての子が多く飛ばし方がわからず、やり方を教わると羽根だけが飛んでいく面白さに結構人気がありました。木ゴマも大人の手には丁度いい大きさでも小さい子供の手には結構大きく、一生懸命子供に教えているお母さんもいましたが、やっと紐が巻けても片手で回す事が出来ず何回もチャレンジしていました、“ガンバレ、ガンバレ” 疲れた後は家族と昼食です。参加人数は149名でした。

柏崎地区グラウンドゴルフ大会 (体育振興会主催・社協協賛)

令和元年11月10日(日)快晴の中、柏陽中学校校庭でグラウンドゴルフ大会が行われま



した。はたして令和元年初の優勝杯は誰の手に、皆さんひそかに狙って(?)ゲームが始まりました。コースはA, B, Cの3コース。一組6~7人で8組3グループに分かれそれぞれABCを回る、1コース8ホールですから24ホールをプレーしました。自治会の優勝は浮谷上、準優勝は加倉1区、3位は柏崎でした。個人優勝は佐藤憲克(加倉1区)さん。

シニア賞は蛭間信弘(柏崎)さんでした。なんと優勝した佐藤憲克さんは“平成年度”最後の優勝者で、元号が変わった“令和元年”に優勝するという快挙を達成されました。

令和元年度歳末助け合い援護事業



柏崎地区社協は今年も歳末助け合い援護事業を行いました。対象者は65歳以上の在宅寝たきり高齢者、身体・知的障害者には支援金を、70歳以上の一人暮らしの方及び75歳以上の高齢者のみ世帯の方には正月用品を希望された方にお届けしました。支援金は51名、正月用品(おせちセット)は147名でした。

赤い羽根共同募金



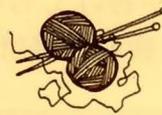
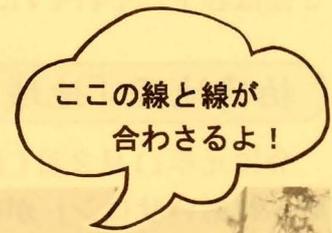
各自治会様、個人様、商店様、会社様等各方面から御協力頂きました。これらは社会福祉関係の団体に配分されます。有難うございました。

各自治会のふれあいサロン活動

加倉1区ふれあいサロン 令和元年7月2日

恒例の七夕飾りから始まりました。参加者は用意された短冊に心を込めて願いを書いて笹竹に飾りました。

今日はジグソーパズルです。新聞紙をランダムに切って7ピース用と8ピース用を2種類、佐藤憲克さんがつくってきてくれました。3～4人のグループに分かれ、1グループごとに新聞紙の元の形に並べる時間を競います。皆さん観察力が鋭く、切られた写真や記事の枠線などをヒントに合わせていき平均30秒ぐらいで完成させ各グループが僅差の勝負になりました。昼食はパプリカ等の野菜をトッピングしたモダンなカレーライスを頂き、最後にデザートのスイカの種飛ばし大会を行いました。1位は野呂多美子さん、2位は三井孝子さん、3位は星野高見さんでした。



加倉3区サロン 令和元年7月26日

自治会の酒井勝人さんを講師に『頭の体操クイズ』でリフレッシュしようという企画です。講師は「年齢を重ねると“臨機応変”さが鈍くなり頭も凝り固まってカチカチ頭になりがち、いつまでもしなやかなでスマートな脳でいたいものです」と前置きし、いよいよ本題に。いろいろ出題してもらい、みんなで“あーだ、こーだ”と脳をフル回転、間違えるとそのたび酒井講師にまだまだ頭が硬いと“はっば”をかけられみんな大笑いしながら正解を考えました。その他、白板に図形問題を出したり、いくつか言葉を書いてこれをヒントに“この漢字をなんと読むか?”という問題も。次に人間の体には必要なものがたくさんあるとボードに書いての説明は往年の“ケーシー高峰さん風”の“お色気お笑い”を取り入れた説明にみんな笑いが止まらない健康漫談?でした。昼食のお弁当をたべた後は手芸関係、将棋関係等それぞれが楽しみました。



巧みな話術で参加者の頭は柔らかかに?

このほか、9月21日(土)加倉2区、11月6日(水)加倉1区、11月9日(土)柏崎、12月14日(土)真福寺で「ふれあいサロン」が開かれました。



社協事務所

開所日時 月曜日～金曜日 (土日祝祭日休み、臨時休有り)
10時～12時・13時～16時

TEL・FAX 048-797-2911 地域福祉コーディネーター 倉田 真由美